

新生児の症例から、ヒトの心臓も心筋梗塞後に再生できる可能性あり

心筋梗塞後の心筋の再生とその後の心不全については、治療の改善や再還流戦略によっても未だ解決できていない。近年、魚やマウスにおける心筋梗塞後の心筋の再生が報告されている。そのメカニズムの解明と、ヒトにおいても起こり得るのかを検証するのが課題とされる。そこで本研究では、心筋梗塞を発症した新生児の1症例から、心臓が機能的に回復するのかを検討した。

本症例は、生後1時間未満の新生児が、心臓の主要血管の一つが閉塞したことにより心筋梗塞を発症したものである。この新生児の心筋は重度の損傷を受けたことが血清マーカーや心電図、心エコー、心血管造影で確認された。しかし、数週間後には心機能は回復し、現在では正常に機能している。

本症例から、ヒトの新生児には心筋の損傷を回復する能力が備わっており、心筋梗塞後も心機能が完全に回復する可能性が示唆された。

出典：Circulation Research. Published online Dec 9, 2015;

pii: CIRCRESAHA. 155.307017